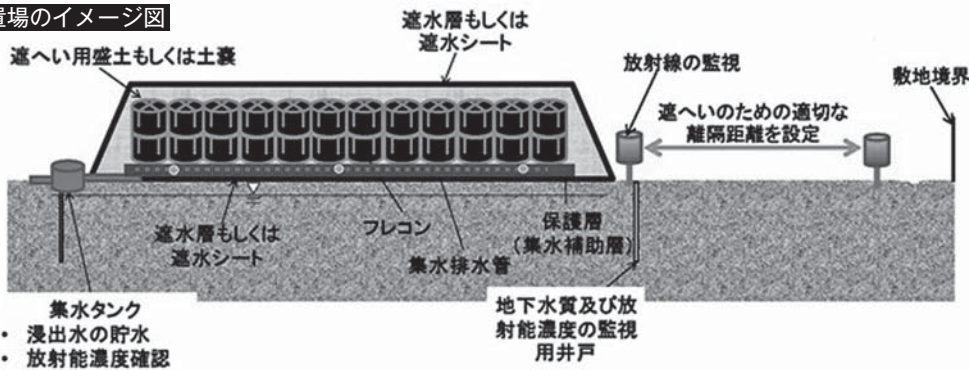


仮置場のイメージ図



Q12. 仮置場は安全なの？  
安全が十分に確保できる施設とするために、環境省ガイドラインに沿って適切に設計し、徹底した安全対策を施します。

Q13. 仮置場はどんな仕組みなの？

仮置場の土地は、平らに整地し、水を通さないシートを敷きます。そのシートの上に、除染によって生じた土砂などを入れた丈夫な大型袋を、段積みにして並べます。そして、水を通さないシートで覆います。

Q14. 仮置場はどの位の大きさなの？

除去物の発生量によって変わるため、一概に規模をお示しすることはできませんが、1区画当たり1辺20メートル×20メートル程度のものを、数区画設置する予定です。

Q15. 仮置場はどのように管理されるの？

環境省ガイドラインの管理要件に従って、放射線量の監視、地下水のモニタリングなどを実施し、その結果を適確に記録し、施設の廃止まで保存します。

Q16. 除去物を集めると放射線量が高くなるのでは？

除染作業によって生じた除去物を土のう袋などに集めると、その袋自体の放射線量は高くなります。ですが、毎時1マイクロシーベルトの大型土のう袋を100個集めた場合に、毎時100マイクロシーベルトになるかというと、そのようにはなりません。

これは、内側に積まれた袋の放射線を、外側に積まれた袋で遮へいするためです。

Q17. 放射線を防ぐには、距離をとれば大丈夫と聞いたけど…？

放射線を防ぐ方法としては、その特性を利用した「距離」「時間」「遮へい」の3原則があります。(左記参照)

### ■距離による防護

放射線は距離の2乗に反比例して弱くなります。

単純に3倍遠のけば、9分の1の放射線量になります。(仮に表面から1m地点で毎時1.8マイクロシーベルトあったとき、表面から3m地点では理論上、

$$\left(\frac{1}{3}\right)^2 = \frac{1}{9}$$

$$1.8 \times \frac{1}{9} = 0.2 \text{ (マイクロシーベルト/時)}$$

となります。実際には、周りの線量の影響を受けるため、距離の2乗に反比例しない場合があります)

### ■時間による防護

被ばく線量は、放射線に被ばくしている時間に比例します。被ばく時間が短いほど被ばくは少なくなります。

### ■遮へいによる防護

放射線は遮へい物により減衰させ弱めることができます。

務所から、仮置き場の構造や周辺地域の除染による除去物の保管状況などの説明を受け、その後、除去物から離れると放射線量が半分以下の数値に下がることを実際に線量計で計測し、確認しました。

今後町では、除染を実施するため、除去物を保管する仮置き場の設置を進めていきます。仮置き場は、国が中間貯蔵施設を整備する3年程度の間、除染による除去物を保管することになります。安全な施設を整備しますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

●ご質問・ご要望を受け付けています。

岡町民生活課

☎72-6933

fax72-3121

Eメール

chouninseikatuka@town.

ono.fukushima.jp